今後の検討の進め方（案）

1. 技術開発スケジュール

- 平成16年度末まで 基本条件の整理、開発すべき要素技術の骨格の決定
- 平成17年夏まで (シミュレーション技術の基本設計・要素技術の開発)
- 平成17年12月まで 対策効果の定量化と要素技術の有効性の検証
- 平成17年度末まで (シミュレーションプログラムの開発・入力データ収集)
- 平成18年夏まで 対策の費用対効果の検討と各種対策の適用条件の整理
- 平成18年12月まで (シミュレーション技術の検証・都市空間の形成手法の開発)
- 平成18年度末まで 技術開発成果の提供

2. 検討の進め方

- 1) 事務局において、本プロジェクトの技術開発の課題及び技術開発成果に関する資料をとりまとめるとともに、都市気候を考慮した都市計画手法について、国内外の動向に関する資料を収集する。
- 2) 次回検討会において、17年度の課題について助言いただくとともに、各委員から知見を紹介していただく。(17年6月予定)
- 3) 以降、本プロジェクトの最終年度の18年度まで年間2回程度検討会を開催する。
- 4) 検討会は、引き続き、原則として公開で行う。WGは、当面非公開で行うが、技術開発の途中段階において有意な知見が得られた場合は、ウェブサイト（設置予定）等により随時公表することとする。